



過日、各年次7月進研模試が実施されました。

新型コロナ禍に伴い、各年次の第1回スタディーサポートの結果が出て間もないタイミングとなりましたが、みなさん手ごたえはどうだったでしょうか？

今回はスタディーサポートと進研模試の違いについて、お伝えしたいと思います。

## (1) スタディーサポートと進研模試の違いは・・・!?

下の表にまとめたように、**スタディーサポート**は出題範囲における基礎・基本事項が網羅的に出題され、「**できるべきところができているか?**」にポイントが置かれています。

対して、**進研模試**は基礎～発展までスポット的な出題となり、「**どこまで(どのレベルまで)できるか?**」ということにポイントが置かれます。

つまり、スタディーサポートで間違ってしまった問題については、基礎・基本事項の徹底や定着がなされていない部分になるので、十分な復習(振り返り、繰り返し解く)が重要となります。

	スタディーサポート	進研模試
位置づけ	できるべきところができているか?	どこまでできるか?
レベル	基礎・基本	基礎～発展
範囲	網羅的	スポット的

## (2) スタディーサポートの網羅的な復習が重要な理由

**【入試学力】 = 【基礎】 > 【応用の組み合わせ】**

①合格のためには、入試問題が解ける必要あり  
(最終目標・目的)

②入試問題が解けるためには、進研模試を解ける必要あり(最終目標・目的から逆算)

③進研模試が解けるためには、1, 2年次での既習事項が定着している必要性あり(さらに逆算)

《模試の前に、スタディーサポートを網羅的に復習するのが効果的!!》

### (3) スタディーサポートと進研模試のおおよその対応

進研模試 スタサポ	1年7月	1年11月	1年1月
1年第1回	***		
1年第2回	***	***	
2年第1回	***	***	***

《1年第2回のスタサポ対策は1年次11月進研模試の対策につながる!!》

《1年既習事項の総復習には、2年第1回のスタサポの復習・見直し!!》

### (4) 学力・学習バランスについて

スタディーサポートと進研模試の違いに、学習状況の調査があります。

スタディーサポートについては、学力(英・国・数のマークシート試験結果)と学習(学習状況調査の結果)の2点から現在の状態を下の図のように分析されて提示されます。みなさんは、どのタイプに位置づけられていましたか?

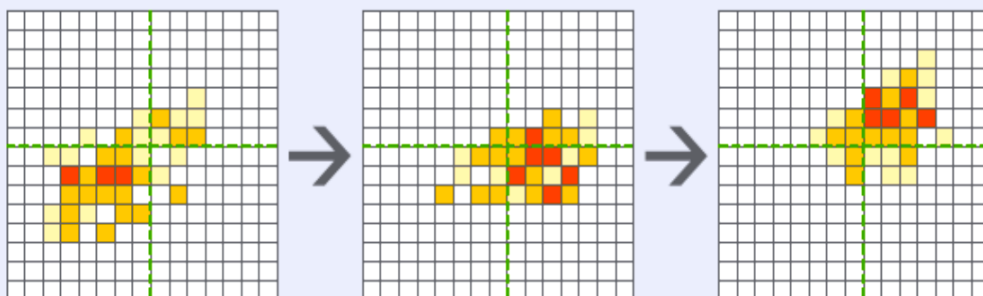


結論から提示すると、下図のように「学習習慣」が向上して、その後に「学力」が向上するそうです。上図で言えば「タイプ②の生徒は→タイプ④→タイプ③へ」ということで、「タイプ②→タイプ③」や「タイプ①→タイプ③」のようにはならないとのこと。

#### 過回推移

#### ◎学力・学習習慣の定着が見られる場合

学習習慣の定着が見られる場合は、回を追うごとに右図のように分布の中心が右上に移動していきます。まずは学習習慣を改善し、それに伴い学力がアップするという傾向にあります。



タイプ①～④のうち、今後、最も意識的に改善が必要なのは、タイプ①に該当している場合です。現時点では、ある程度の学力があるものの、学習習慣が低いため、今後の学習内容への対応(積み上げ)が不安視され、その場限りの学習(学力)となっている場合も少なくなく、結果的にいつのまにかタイプ②となってしまう、学力・学習面で不安を抱えることになりかねません。

《学習習慣の早期確立・改善が学力向上への近道!!》